

県内市町村の取組み状況

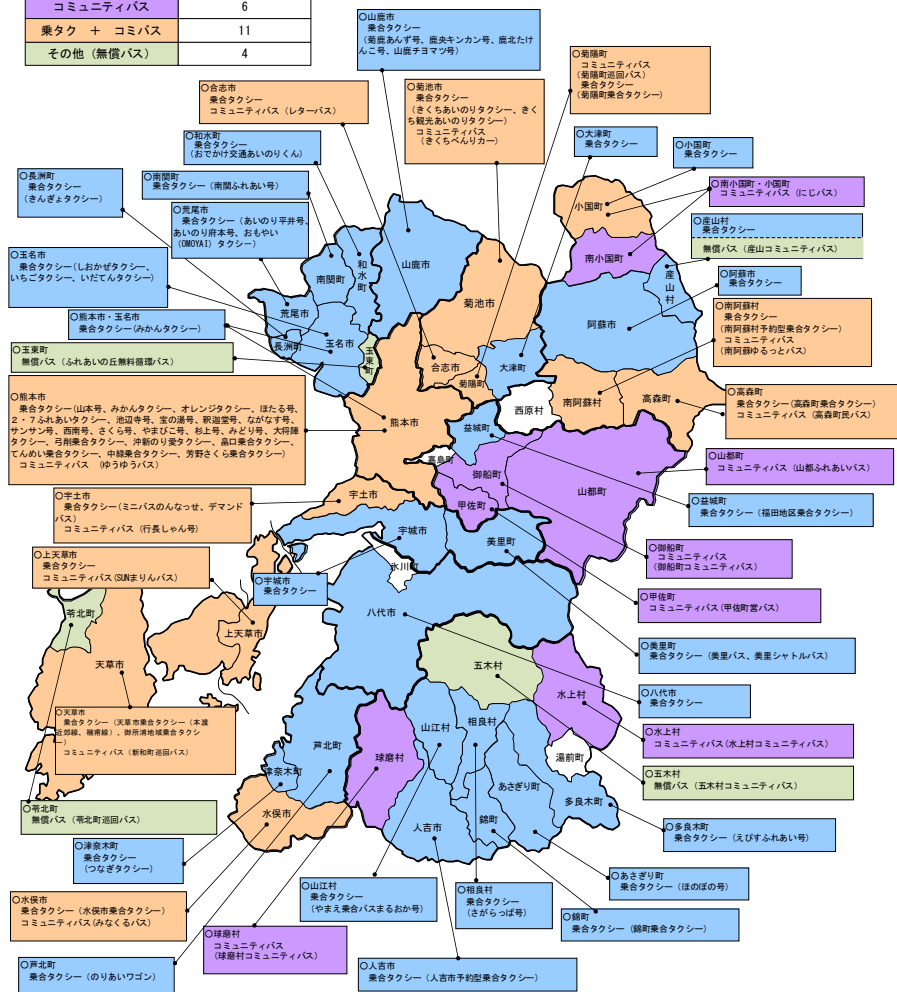
県内市町村では、それぞれの地域においてコミュニティバスや乗合タクシーなどが導入されており、利用ニーズに応じたサービスの見直し等も進められている。

【令和4年度における主な取組み事例】

- ・天草市：栖本地区におけるAIオンデマンド乗合タクシーの実証運行（8月～）
- ・阿蘇市：自家用有償旅客運送実証運行（10月）
- ・益城町：津森地区における乗合タクシーの実証運行（11月～）

乗合タクシー	21
コミュニティバス	6
乗タク + コミバス	11
その他（無償バス）	4

【令和4年4月時点】



▲本県におけるコミュニティ交通の導入状況
※出典：令和4年度市町村交通施策状況調査（熊本県）

令和4年度における県の取組み状況

1 県の財政支援（補助制度）の見直しの実施（生活交通維持・活性化総合交付金）

➤ 市町村による地域の実情に応じたコミュニティ交通施策の後押しとなるよう県の財政支援（補助制度）の見直しを実施

（1）コミュニティ交通導入・改善事業（新規）

【対 象】①需給バランスを考慮した運行の効率化・ダウンサイジングの検討・導入
②新たなモビリティ技術や法制度を活用した施策の検討・導入 など

【補助率】1/2（上限500万円）

（2）コミュニティ交通確保・維持事業（見直し）

コミュニティ交通の運行確保・維持に要する経費に対して優先配分（経過措置あり）

【対 象】①コミュニティ交通運行事業者を対象とした欠損補助事業

②コミュニティ交通運行事業者への運行委託事業

③交通空白輸送（市町村営バス）事業 など

【交付額】当該年度における対象事業の経費に応じて配分

※活性化再生法に基づく公共交通計画の策定状況や利用実態に応じたサービス内容の見直し等を行った市町村に対して傾斜配分を実施（インセンティブ制度の導入）

2 担当者研修会による資質向上の支援

➤ 市町村や交通事業者担当者を対象に「コミュニティ交通の充実」及び「公共交通の利用促進」をテーマとした研修会を令和4年11月28日に開催し、64名が参加。

【研修会プログラム】

- ①基調講演 『公共交通に乗る、の難しさとその実践について』
大分大学経済学部 教授 大井 尚司 氏
- ②取組紹介 『国における最近の議論状況等について』
九州運輸局交通政策部交通企画課長 丹下 涼 氏
- ③事例紹介 県内市町村及び交通事業者の取組事例について報告（4団体）
- ④グループワーク 『公共交通の利用促進について』

【参考】地域公共交通計画の策定状況（令和4年11月時点）

策定時期	計画名称	策定時期	計画名称
H28.3	合志市地域公共交通網形成計画	H31.3	山都町地域公共交通網形成計画
H29.3	美里町地域公共交通網形成計画	R2.3	第2期水俣市地域公共交通網形成計画
H29.7	人吉市地域公共交通網形成計画	R2.10	八代市地域公共交通計画
H29.11	水上村地域公共交通網形成計画	R3.3	益城町地域公共交通計画
H30.3	荒尾市地域公共交通網形成計画	R3.4	熊本地域公共交通計画
	上天草市地域公共交通網形成計画	R4.2	宇土市地域公共交通計画
	天草市地域公共交通網形成計画	R4.3	南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画
H31.3	芦北町地域公共交通網形成計画		人吉・球磨地域公共交通計画
	宇城市地域公共交通網形成計画	R4.6	御船町地域公共交通計画
	山鹿市地域公共交通網形成計画	R4.9	大津町地域公共交通計画

※人吉市、荒尾市、天草市、上天草市、南関町は策定中（改訂も含む）